

10月30日 観音峯

黒崎高生

山名	観音峯(展望台)	山行名	個人山行			
ルート	天川村役場～みたらい溪谷～観音峯登山口～観音平～観音峯展望台(往復)					
山行日	2021.10.30(土)	天候	晴			
参加者	CL:黒崎、SL:藤本、幾田、染矢、佐々木、木田、吉田、玉置 合計:8名					
ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時:分	地名		時:分
	京田辺	発	06:30	観音平	着	12:30
					発	12:35
	天川村役場	着	08:20	観音峯登山口	着	13:15
		発	08:50		発	13:25
	みたらい橋	着	09:20	天川村役場	着	14:40
		発	09:30		発	14:50
観音峯登山口	着	10:05	京田辺	着	19:00	
	発	10:20				
観音峯展望台	着	11:35				
	発	12:15				
山行報告 5月に中止になった観音峯へ 最近2回の山行が『てんくら A』なのに見事に裏切られていたが、今回はいい天気となりました。6時30分京田辺を出発し8時20分天川村役場到着。SL自慢のラジオ体操の歌を全員で熱唱?(少し恥ずかしいので周辺を確認しながら・・・)後、体操を実施して8時50分役場をスタートした。みたらい橋まで一般道を歩き、みたらい溪谷の絶景ポイントの哀伝橋を渡ると大きな一枚岩の上から、みたらいの滝が岩の間を縫って流れる景色とエメラルドグリーンに輝いた神秘的な淵が見れました。川沿いには遊歩道が整備されている。 みたらい溪谷は年間を通して春は新緑、夏は水しぶきに川サツキ、秋は紅葉、冬は山水画と四季折々の景観が楽しめるそうです。 観音峯登山口となる休憩所から展望台まで、ほぼ休憩なしで登ったが途中にある観音の水の水場でTさんが滑って水受けの中に足を突っ込み、皆に笑いを届けてくれた。 展望台は風もなく大峰の山々(八経ヶ岳や稲村ヶ岳)を一望しながら昼食を済ませ下山。 まだ紅葉には少し早いと思われませんが、所々赤や黄色に色づいて秋を思わせる一日でした。 (紅葉の見頃は11月上旬～中旬だそうです。) 予定より1時間程早く役場に到着。その後は、天の川温泉で汗を流して帰路につきました。 参加の皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。						
ヤマップ記録 時間 約6時間 距離 約12km						
ヒヤリハット: なし						

観音峯 感想文

染矢 つや子

過去2回 天川村役場から洞川温泉入口までハイキング。途中「観音峯」登山口の標識を目にし気になっていた。地図をみるとしっかりとした登山道であることがわかり、その内と思っていた。

山友会屈指の健脚、黒崎・藤本さんペアの担当で心して当日を迎えた。役場駐車場でラジオ体操の歌を合唱しラジオ体操。CL・SLが違えばやり方もイロイロ。お若い二人の指導に新鮮さを感じた。

青空が今日の素晴らしい1日を後押ししてくれている様で心ウキウキ。

「観音峯」登山口駐車場でトイレ休憩、駐車場は思っていたより広いがすでに満車。周囲の黄葉の中に少し赤色の紅葉がアクセントとなり「秋の山」を感じさせてくれる。直ぐに木の階段の急登、時々つづら折りになる登山道、じんわりと汗をかくころ、色づく周囲の木々に陽がさすと一段と緑・黄色・が透き通るようで自然の美しさにうっとり・・・

頂上は展望が望めないとの事で今回は「観音峯展望台」が終点。最後は石の階段、直登、その先に立派な縦長の岩に「観音峯展望台」と彫られ土台は円形、周りは程よい高さのススキに覆われていた。周囲の山々が記されている。その中で気になる山名「頂仙岳」1717m。「狼平避難小屋」北に1時間足らずでいける山であることがわかりました。素晴らしい眺め、「山っていいなーやめられません」

ドライバーの黒崎・木田さん人に優しい心使いに感謝！ 楽しい山行ありがとうございました。

玉置 安世

観音峰って聞いてどんなに厳しいところなんだろうと思っていたけど、すごく歩きやすい道でした。

みたらい溪谷も初めてで次から次に現れる滝にも癒やされました。紅葉もいい感じでした。観音峰の展望台からは先月登った大日岳や稲村ヶ岳が見えます。

山々を見ながら昼食。なんて贅沢。人数も少なめでしたがみんなでわいわいガヤガヤ賑やかな山行でした。

私のプチヒヤリハット・・・観音水という水場で水を飲もうと下の水をためている石の容器？に足をかけた瞬間、ドボンと靴ごとはまって水浸しになってしまいました。ずぶ濡れに～みなさん気をつけましょう。延命の水らしいので、浸かった右足は長生きすることでしょう(笑)

長時間運転して下さった運転手の方、CL・SLさんご苦労さまでした。

佐々木 康治

観音平は大峰屈指の展望が楽しめ、山麓の溪谷美は魅力がいっぱい。麓まで距離があるのが難だが、その褒美はたっぷり。リーダーの黒崎さん、藤本さんは息の合った俊足ペア、ついていけるのかと不安が先に立つ。NHK ラジオ体操の合唱でスタート、軽快なリズムが心身をリフレッシュさせる。御手洗溪谷は大峰ブルーの清流、バラエティに富む滝群、折り重なる巨岩と絶景のてんこ盛り。コロナの猛威も収束気味、よく整備された遊歩道は多くの遊山客で賑やか。枝切りされスッと伸びた杉林、色づき始めたモミジが老体を励ましてくれる。観音平は 360 度のパノラマ、大きな山名盤にはイラスト付きで周辺の山々の紹介、弥山、八経、頂仙、護摩の壇、高野、稲村、葛城、金剛・・・登った時々の思い出がよみがえる。

上りは木田さんの「坊がつる讃歌」、下りは「森のくまさん」の輪唱、「くまさんのいうことにゃ、お嬢さん、オヌギなさい・・・」とは妙な歌詞、疲れも時も笑いと共に吹っ飛んでいく。長時間運転して下さった黒崎さん、木田さんの方には足を向けて寝られない、ひたすら感謝。

藤本 光代

今日は観音峰ね〜と、朝 6 時前に車を走らせた。まだ紅葉は早いかなあと思いながら天川村役場に向かっていると、チラホラと紅葉が見えてくる。これはもしかしたら山頂のほうは紅葉が見頃？と胸を膨らませる。皆さんと合流して準備体操ののち歩きだす。みたらいい溪谷を歩いていると、巨大な岩とエメラルドグリーンの清流「わあ〜綺麗」「魚いてるよ。あそこに」など喜びの声が聞こえてくる。ある女子は観音水の貯水のところでは足がドボンとはまり、笑いをとってくれるし、目標の観音峰展望台では大日岳も綺麗に見えてそこで昼食することになり「近場でこんなに綺麗な紅葉みれて嬉しい。」や「また、この山にこよう！」とか色んな嬉しい言葉が聞けた。私は何度かきてるので山の感動より皆さんの嬉しい言葉を聞いているほうが喜びを感じたSLでした。



みたらいい溪谷遊歩道入口



観音の水

右足が長生きする〜
癒されます!!!



右向け～右 で 皆さんのつてくれます 🏔️

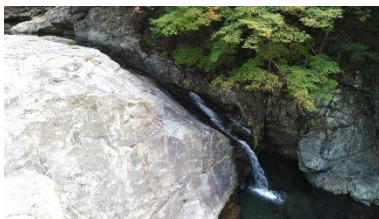
幾田 邦江

以前、先輩から、みたらい溪谷は素敵なところだと聞いた事があり、ぜひとも行ってみたいと思っていました。

清流や、巨石や、紅葉の木々を見ながらの遊歩道は、大変癒されました。

CLさんSLさんの検討のお陰で、観音峯山も、山頂まで登らず、観音峯展望台でゆったりと、360度のパノラマの景色を堪能する事ができました。特に、9月山行の大日山、稲村ヶ岳を見て、あの時の感動を、Yさんと分かち合えた事が、嬉しかったです。

皆で山の形があだこうだと言いあったり、もりのくまさんを輪唱しながら歩いたり、今回も楽しい山行でした。CLさんSLさん、皆さま、ありがとうございました。来年もご一緒に行きましょう。



みたらいの滝



一枚岩



観音峯登山口



陽が眩しい。いい天気



観音峯展望台



大日山と稲村ヶ岳



食後 下山前 ご一緒に



観音平で一休み



きれいな光の滝



哀伝橋から みたらい橋



遊歩道途中の・・・